

【研究調査の目的】

長崎市の稲佐山における夜景等を活用した運営事例調査

【調査先】

一般財団法人長崎ロープウェイ・水族館(長崎県長崎市)
長崎市文化観光部観光政策課(長崎県長崎市)

【調査期間】

平成30年3月28日(水)～3月29日(木):2日間

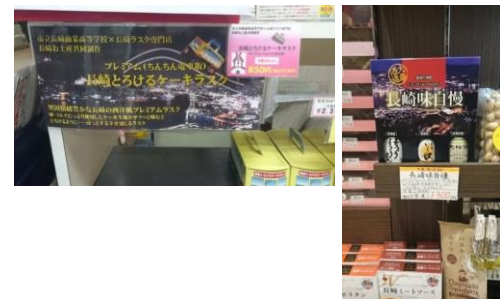
【長崎市の様子】



長崎駅 改札を出てすぐ
「世界新三界夜景」の看板
(H24年度認定)



外国人観光客も多い



いろいろな夜景関連商品が
生まれている。

市内のいたるところに「夜景」の看板
官民が連携して「長崎＝夜景」の認知度を向上

○研究調査結果まとめ

	屋 島	稲佐山(長崎市)
夜 景	○街と海とのバランスが美しい夜景	○斜面の街がもたらす立体的な夜景 ○キャッチコピー『地上の銀河』
集客の 時間帯	○昼間がメイン	○(昔から)8割以上が夜
官民連携	○魅力ある屋島再生協議会や 源平屋島地域運営協議会などの取組	○電波塔のライトアップ試行や 写真コンテスト (長崎夜景プロモーション実行委員会) ○無料循環バス (夜景観光推進実行委員会)

【屋島の夜景】

世界新三大夜景の
稲佐山にも負けていな
い！



「屋島」の
更なる魅力に！！

官民が連携して魅力向上！

【短期的な取組案】

- ①屋島オリジナル商品の開発
⇒ 瓦スク 等
- ②「屋島の夜景」の浸透
⇒ ・夕夜景フェスタの
リニューアル
・「屋島の夜景」の
露出強化
- ③交通アクセスの検討
⇒ ・シャトルバスの増便
・夜景循環バス

屋島山上の入込客数の増加

【長期的な取組案】

- 観光商品としての
ロープウェイ
- 山上駐車場の拡充
など